

平成 29 年度

長崎市入札監視委員会

報告書

平成30年4月

長崎市入札監視委員会の審議経過及び結果

1 概要

建設工事の入札及び契約のより一層の透明性の確保並びに公正な競争の促進を図る目的のもとに、本委員会を4回開催し、平成29年に長崎市が発注した入札・契約手続きの適正性の審議等を行ったので、審議の結果及び当該審議過程における各委員の意見を取りまとめ報告する。

〔開催状況〕

委員会	開催日	時間	内容
第1回	平成29年 5月23日（火）	10：00～12：00	抽出事案等の審議
第2回	平成29年 8月22日（火）	13：00～15：00	
第3回	平成29年11月14日（火）	10：00～12：00	
第4回	平成30年 2月13日（火）	10：00～12：00	

2 審議内容

(1) 抽出事案

建設工事の抽出事案の審議対象は、長崎市が平成29年中に発注した1件の予定価格が130万円を超える建設工事であり、その内訳は、次の「平成29年発注工事内訳」のとおりである。

この中から各委員において抽出を行い、32件を審議対象工事として審議を行った。

委員会の審議においては、長崎市が発注した建設工事に係る入札・契約手続きの全般的な運用状況について報告を受けるとともに、抽出した審議事案ごとに「抽出事案説明書」、「入札・見積執行書」、「関係図面」等の関係資料に基づき、理財部及び各発注部局から入札参加資格の設定方法や理由及び入札・契約の経緯等の説明を受け、疑問点についての質疑を行った。

〔平成29年発注工事内訳（審議対象工事内訳）〕

区 分	発注総件数	審議対象件数
① 制限付一般競争入札	654件	26件
② 指名競争入札	17件	1件
③ 随意契約	38件	5件
合 計	709件	32件

〔抽出事案件数〕

第1回	夏井減圧槽築造工事ほか6件
第2回	道路舗装工事（単価契約）ほか8件
第3回	西部下水処理場余剰汚泥濃縮設備改築機械工事ほか6件
第4回	中部第一排水区（岩川町）雨水渠布設工事ほか8件

（2）指名停止状況の報告

受注工事での事故、独占禁止法違反などによって指名停止となった案件の報告を受け、制度に沿った措置が行われたか確認した。

〔指名停止措置状況〕

委員会	報告対象期間	件数	業者数
第1回	平成29年 1月1日～ 3月31日	4件	9社
第2回	平成29年 4月1日～ 6月30日	4件	5社
第3回	平成29年 7月1日～ 9月30日	1件	1社
第4回	平成29年10月1日～12月31日	2件	2社
合 計		11件	17社

3 審議結果

平成29年中に発注された建設工事のうち、当委員会が抽出した事案に関し、一般競争入札参加資格の設定の経緯、指名競争入札に係る指名業者選定の考え方、随意契約とした経過及び相手方を選定した理由並びに入札又は見積の経緯等について審議を行った結果、平成29年中の入札・契約手続きについては、不適切な点等は認められなかった。

なお、審議の中における特記すべき意見は次のとおりである。

(1) 資本的関係又は人的関係のある業者等の同一入札参加制限について

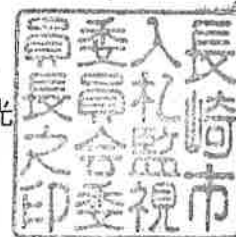
長崎市の入札制度では、同一人が代表者となっている業者は同一入札に参加できないが、資本的関係又は人的関係のある業者は入札参加可能となっており、入札参加者間の入札の適正さが阻害される懸念がある。実効ある競争性の確保を図る観点から入札参加資格の見直しを図る必要があると考える。

(2) 早期発注・平準化について

入札不調や高落札率につながる入札参加者が少ない案件が依然として散見されることから、より早期発注・平準化に努めるとともに、工事実績がない業者が実績を作り、入札に参加できるような取り組みについても検討する必要があると考える。

平成30年4月9日

長崎市入札監視委員会
委員長 里 隆 光



長崎市長 田上 富久 様